



SDGs 達成に向けた取組み

Kuroshio Smile Activity ～フィリピンの子どもたちに学用品を届けよう～



目的・背景

社内で取り組んでいる SDGs 活動の中で「クロシオスマイル」は令和 5 年に始めた活動、今回が 2 年目（2 回目）になります。これは弊社の貨物船乗組員の大半を占めるフィリピン人船員へ感謝の意を込めて彼らの母国に恩返しをすべく、現地の子どもたちの教育を支援することを目的とした活動です。船員たちに希望することを聞いた結果「貧しい地域の子どもたちに学用品を届けてほしい」という意見が最も多かったことがきっかけです。フィリピンには公立の学校で授業料はかからなくても文具を購入できない家庭が少なくありません。船員の出身地を意識して学校を紹介してもらいます。クロシオ（黒潮）はフィリピン海域から日本に向けて流れる海流で友情のシンボルとしてこの名前をつけていました。

具体的な取組内容

令和 6 年 12 月にフィリピンのパナイ島という島にある 2 つの小学校で活動しました。（令和 5 年とはまた違う学校を選定しました）1 校は生徒が 700 人越えの大きな学校で、もう 1 校は 100



人程度の小さな学校です。令和 5 年は「学用品」に限定して一人一人の生徒に文具を渡しましたが令和 6 年は学校に必要なものも対象にお届けすることにしました。

令和 5 年の活動で老朽化した教室や設備を目の当たりにしたことがきっかけです。

先生たちに必要なものを確認し数か月かけて支給品を決めていきました。活動の準備には最低半年かかります。弊社のマニラ事務所ともオンラインミーティングや出張のタイミングを利用して何度も話し合って準備を進めました。

今回小学校に支給したものは各生徒への文房具に加え「扇風機」「浄水器」「TV モニター」です。小規模の学校へは生徒 1 人ずつ「制服」もお渡ししました。この学校では規定の制服を持っている子がほとんどおらず皆 T シャツに短パン、スカートだったのでとても喜ばれました。日本の企業がこうして寄付に来ることは過去初めてとのことで PTA や地区の学校代表の先生たちも来られ「とても光栄です」とのことでした。

同じ島に住む弊社船員と家族もお手伝いに参加し子どもたちに船の話、船員の話をしてきて皆興味津々でした。

皆元気いっぱい素直で経済環境と幸福度は異なるものだと改めてこちらが学ぶものもあります。

皆の夢を叶えるためには勉強が大切だからこの活動をしているのだと伝えました。

活動を通して先生たちとも教育環境について話し合うことができ今後の活動のヒントにもなりました。



成 果

- ① フィリピンの子どもたちに日本、愛媛、海運業、会社のアピールをすることができました。
- ② フィリピン人船員と彼らの家族に喜んでもらい、会社への思いを強く惹きつけることができました。
- ③ 本業をベースに自分たちの船員も会社を誇りに思ってくれる活動ができ、また将来船員になりたいと子どもたちに思ってもらえることができました。

企業の SDGs として最も価値があるのは会社に関わる人たちに会社を誇りに思ってもらえる活動をする事だと考えています。その点で弊社で働く船員たちにとって彼らの出身エリアを支援するということはとても意味のある活動です。私たちの船員がどのような環境で育ってきたのかを感じることも貴重な体験です。

また子どもたちが船乗りについてとても興味を持ってくれて何人も「Seaman になるー！」と言ってくれたこともとても嬉しく思います。日本に、愛媛に行ってみたいな、という気持ちも持ってくれるのでいつ

か叶えてくれることを願います。小さな活動ではありますが少しでもフィリピンの教育環境に貢献できればという思いで継続しようと思っています。



担当者の思い

SDGs は国連の掲げる世界の目標ですが、企業版の SDGs は企業が社会と共に成長する目標だと捉えています。一時的なボランティア活動や事業と関連性のない社会貢献をしても持続性は保てないので、やはり本業をベースに社会活動を行うことが重要だと考えます。

また、社会のため、環境のため、もありますが、「より良い会社へ」の思いも大事です。SDGs を活用して従業員が生き生きと誇りを持って働ける会社でありたいと願っています。

（ESG 推進室 室長 原田 瑞紀）